安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 **オーケストラロムダンモンカット粉剤DL**

供給者の会社名称，住所及び電話番号

製造者名 日本農薬株式会社

住所 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目19番8号 京橋ＯＭビル

メールアドレス kankyouanzen@nichino.co.jp

電話番号（平日） 050-3490-3494（環境安全・品質保証部）

電話番号（休日、夜間） 04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

製品コード SDS505-00035

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 農薬（殺虫殺菌剤）

使用上の制限 農薬登録の範囲外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1 (免疫系, 腎臓, 呼吸器系)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分3

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 遺伝性疾患のおそれの疑い。 発がんのおそれ。 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (免疫系, 腎臓, 呼吸器系) の障害。 水生生物に毒性。 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

安全対策 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

その他の情報 なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

		官報公示整理番号		
化学名又は一般名	**CAS番号**	**化審法**	**安衛法**	**含有量 (%)**
フルトラニル	66332-96-5	(3)-3925	4-(7)-1442	2
テブフェノジド	112410-23-8	-	4-(7)-1685	0.75
ベンズピリモキサン	1449021-97-9	-	8-(2)-2778	0.5
結晶質シリカ	14808-60-7	(1)-548	(1)-548	44
非晶質シリカ	112926-00-8	(1)-548	(1)-548	2.9
報告量を下回るその他の成分				49

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。 症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 石けんと水で洗い流す。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 水で洗う。 刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。 症状が現れたら医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 水噴霧。 泡消火剤。 粉末消火剤。 二酸化炭素。

使ってはならない消火剤 知見なし。

火災時の特有の危険有害性 火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置 関係者以外の立ち入りを禁止する。 こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。 清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。 十分な換気を確保する。

環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。 下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 製品回収後、その付近を水で洗い流すこと。 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等） 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 浮遊粉じんの形成を最小限に抑える。 粉じんを吸入しないこと。 使用中は飲食や喫煙をしない。 指定された個人用保護具を使用すること。 取扱い後は手をよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避 酸。 強い酸化剤。 塩素。 フッ素。 詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策 あらゆる医学的監視要件を遵守すること。 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗うこと。

保管

安全な保管条件 施錠して保管すること。 混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。 元の容器に密閉し、乾燥し、涼しくて換気のよい場所に保管する。 飲食物、動物用飼料から離して保管する。 子供の手の届かないように保管すること。

安全な容器包装材料 元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 標準監視手順に従ってください。

ばく露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
フルトラニル (CAS 66332-96-5)	TWA	10 mg/m3	
結晶質シリカ (CAS 14808-60-7)	最大許容濃度	0.03 mg/m3	吸入性粉じん

米国. ACGIH作業環境許容濃度（TLV）

成分	タイプ	数値	形状
結晶質シリカ (CAS 14808-60-7)	TWA	0.025 mg/m3	吸入性画分

設備対策 適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。ばく露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空気中濃度をばく露限界値以下に保つこと。ばく露限界値が設定されていない場合も、空気中の濃度を適切な濃度以下に抑える。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

眼，顔面の保護具 サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣および手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 固体

形状 粉末

色 類白色

臭い データなし。

融点／凝固点 データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 データなし。

可燃性 データなし。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発限界－下限(%) データなし。

爆発限界－上限(%) データなし。

引火点 データなし。

自然発火点 データなし。

分解温度 データなし。

pH 9.5 (1%)

動粘性率 データなし。

溶解度

溶解度（水） データなし。

n-オクタノール／水分配係数（log 値） データなし。

蒸気圧 データなし。

密度及び／又は相対密度

密度 データなし。

相対密度 0.85 （見掛け）

相対ガス密度 データなし。

粒子特性 データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性 本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。

化学的安定性 通常状態で安定。

危険有害反応可能性 一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。

避けるべき条件 混触危険物質との接触。

混触危険物質 酸。 強い酸化剤。 塩素。 フッ素。

危険有害な分解生成物 危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品	種	試験結果
オーケストラロムダンモンカット粉剤DL		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg メス
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg メス

皮膚腐食性／刺激性

刺激性腐食性 - 皮膚

オーケストラロムダンモンカット粉剤DL	結果: 刺激性なし 種: ウサギ

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

刺激性腐食性 - 眼

オーケストラロムダンモンカット粉剤DL	結果: 極軽度刺激物 種: ウサギ

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 製品のデータなし。

皮膚感作性

皮膚感作性

オーケストラロムダンモンカット粉剤DL	ビューラー試験 結果: 陰性 種: モルモット
ベンズピリモキサン	LLNA 法 結果: 陰性 Maximization 法 結果: 陽性 種: モルモット

生殖細胞変異原性 遺伝性疾患のおそれの疑い。 製品のデータなし。

生殖細胞変異原性:染色体異常

結晶質シリカ	結果: 区分 2

発がん性 発がんのおそれ。 製品のデータなし。

結晶質シリカ	結果: 区分 1A

ACGIH発がん性物質

結晶質シリカ (CAS 14808-60-7)	A2 ヒトに発がん性の疑いあり。

IARC発がん性評価モノグラフ

結晶質シリカ (CAS 14808-60-7)	1 ヒトに発がん性である。
非晶質シリカ (CAS 112926-00-8)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

結晶質シリカ (CAS 14808-60-7) 1 ヒトに発がん性である。

NTP発がん性物質レポート

結晶質シリカ (CAS 14808-60-7) 発がん性があることが知られている物質

生殖毒性 製品のデータなし。

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 製品のデータなし。

ベンズピリモキサン
結果: 区分2
種: ラット
臓器: 腎臓

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (免疫系, 腎臓, 呼吸器系) の障害。
製品のデータなし。

結晶質シリカ
結果: 区分 1
臓器: 免疫系 , 腎臓 , 呼吸器系

非晶質シリカ
結果: 区分 1
臓器: 呼吸器／吸入ばく露

ベンズピリモキサン
結果: 区分2
種: イヌ
臓器: 肝臓
試験期間: 90 日間
結果: 区分2
種: ラット
臓器: 肝臓
試験期間: 90 日間
結果: 区分2
種: ラット
臓器: 腎臓
試験期間: 28 日間

テブフェノジド
結果: 区分2
臓器: 血液 , 肝臓 , 腎臓

誤えん有害性 製品のデータなし。

その他の情報 呼吸器や皮膚にアレルギー反応を起こすことがある。

12. 環境影響情報

環境影響データ

製品		**種**	**試験結果**
オーケストラロムダンモンカット粉剤DL			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	甲殻類	1.9 mg/l, 48 時間 オオミジンコ
藻	ErC50	藻	510 mg/l, 72 時間 緑藻類
	NOECr	藻	32 mg/l, 72 時間 緑藻類
魚類	LC50	魚類	170 mg/l, 96 時間 コイ

成分		**種**	**試験結果**
ベンズピリモキサン (CAS 1449021-97-9)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	甲殻類	3.1 mg/l, 48 時間 オオミジンコ
藻	ErC50	藻	> 2.9 mg/l, 72 時間 緑藻類
	NOECr	藻	0.51 mg/l, 72 時間 緑藻類

成分		種	試験結果
魚類	LC50	魚類	2.2 mg/l, 96 時間 コイ

生態毒性 水生生物に毒性。 長期継続的影響によって水生生物に有害。

残留性・分解性 製品のデータなし。

生体蓄積性 製品のデータなし。

土壌中の移動性 製品のデータなし。

オゾン層への有害性 製品のデータなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。 本物質を下水 ／ 水道供給経路に流入させてはならない。 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 該当しない。

国内規制 国内輸送については１５項の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

3'-イソプロポキシ-2-トリフルオロメチルベンズアニリド	別表第9 政令番号 47	2.0 %
結晶質シリカ	別表第9 政令番号 165-2	44 %

表示対象物

3'-イソプロポキシ-2-トリフルオロメチルベンズアニリド	2.0 %
結晶質シリカ	44 %

SDS and Risk Assessment

3'-イソプロポキシ-2-トリフルオロメチルベンズアニリド

結晶質シリカ

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

二酸化ケイ素

石英

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

3′−イソプロポキシ− 2 − トリフルオロメチルベンズアニリド　管理番号 41　2.0 %　(フルトラニル)

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則　該当せず。

航空法・施行規則　該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

二酸化けい素　海洋環境の保全の見地から有害でない物質

その他の情報　農薬取締法

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2012年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 − ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

この安全データシート（SDS）は、現在利用可能な最新の参考文献、データなどに基づいて発行されています。このSDSに記載されている情報に対して慎重な評価が行われていますが、その正確さについては一切保証されません。弊社は、この製品が使用される可能性のある全ての条件を予測することができません。取り扱いに対して適切な安全措置を講じることは、使用者各位の責務です。 シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。